

公共交通の新たな可能性を模索
最先端のバーチャルテクノロジーで入院や通院中の子どもたちを応援！

交通×医療・IT分野によるバーチャルお出かけ体験会が 市内2病院で行われます

本市では、コミュニティ交通の充実に向けて、民間事業者と連携し、より利用しやすい地域公共交通の環境整備に取り組んでおります。

現在、地域の多様なプレーヤーが参加する共創コンソーシアム（代表幹事：川崎鶴見臨港バス株式会社）により、国土交通省共創モデル実証プロジェクトの採択を受け、本年10月から川崎区の一部地域において、デマンド交通「のるーと KAWASAKI」の実証実験運行を実施しています。

この度、本取組の一環として、バス会社や鉄道会社、病院、IT企業などの共創により、同区にある「総合川崎臨港病院」と「市立川崎病院」において、入院や通院中の子どもたちを対象に複数台のプロジェクターやモニターを用いて、まるでバスや鉄道の運転席にいるような体験が提供されます。

この体験を通して、バスや鉄道などを利用し、その場所に行ってみたい気持ちや治療へのモチベーションを高めることで、外出が難しい子どもたちの「生きがい」を支えるなど、他分野との共創による公共交通の新たな可能性を模索します。

1 取組概要：バスや鉄道の「運転手が見ている」特別な景色を360度8Kカメラ映像で体験

映像を3面モニターまたは室内の天井、壁面（正面、左右面）の4面に投影するプロジェクターで映し出し、その場所にいるような体験を行うものです。

体験した方にアンケートなどを行い、今後の展開、拡張の可能性や課題などを検証します。



「4面投影のプロジェクターイメージ（JR南武線）」



「3面モニターイメージ（川崎鶴見臨港バス）」 「3面モニターイメージ（小田急ロマンスカーVSE）」

2 場所、開催日：

- ・総合川崎臨港病院：令和5年12月5日（火）～12月9日（土）の5日間
外来診療時間に2階小児外来待合スペースで3面モニターによる実施
※医療機関のため、患者さんと付き添いの方以外は入場、体験できません
- ・市立川崎病院：令和5年12月5日（火）～12月6日（水）の2日間
8階小児病棟のプレイルームで4面投影のプロジェクターによる実施
※医療機関のため、患者さんと付き添いの方以外は入場、体験できません

- ## 3 取材について
- ：医療機関での実施となるため感染症対策等の観点から、取材を希望する報道機関の方は事前に申し込みをお願いいたします。
取材当日に発熱、風邪症状がある方は取材を御遠慮ください。

【スケジュール】

12月5日（火）両病院とも映像の内容は同じです

（市立川崎病院：川崎区新川通12-1）

- 13:00～13:45 4面投影のプロジェクターによる映像体験・取材 1回目
- 14:00～14:45 4面投影のプロジェクターによる映像体験・取材 2回目

（総合川崎臨港病院：川崎区中島3丁目13-1）

- 15:30～16:00 会議室で取組の概要説明（ブリーフィング）
- 16:00～16:30 3面モニターによる映像体験・取材

（申込先）川崎市まちづくり局交通政策室

電話：044-200-1976

メール：50kousei@city.kawasaki.jp

- ## 4 取組メンバー
- ：川崎鶴見臨港バス株式会社（川崎市川崎区）、小田急電鉄株式会社（海老名市）
東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区）
総合川崎臨港病院（川崎市川崎区）、川崎市立川崎病院（川崎市川崎区）
フォレストデジタル株式会社（北海道十勝郡浦幌町）
認定NPO法人キッズアートプロジェクト、一般社団法人大師 ONE 博
川崎市まちづくり局交通政策室【順不同】



問合せ先

川崎市まちづくり局交通政策室 藤島

電話 044-200-2762